

## 2024年7月～9月期中小企業景況調査結果

### 中小企業の景況感、小幅改善

-来期も引き続き改善する見通し-

#### ◇調査結果の概要

今期は、業況判断及び売上の各D.I.で前期実績を上回り、採算D.I.で前期実績を下回った。(全産業平均)。

来期は、業況判断、売上及び採算の各D.I.で前期実績を上回る見通し(全産業平均)。

#### 指標別の状況(全産業平均)

○業況判断D.I.は、前期実績 $\Delta 28.3$ から $\Delta 26.5$ (1.8ポイント増)となり、来期は $\Delta 19.9$ (6.6ポイント増)となる見通し。

○売上D.I.は、前期実績 $\Delta 23.3$ から $\Delta 22.0$ (1.3ポイント増)となり、来期は $\Delta 18.5$ (3.5ポイント増)となる見通し。

○採算D.I.は、前期実績 $\Delta 4.8$ から $\Delta 5.8$ (1.0ポイント減)となり、来期は $\Delta 1.7$ (4.1ポイント増)となる見通し。

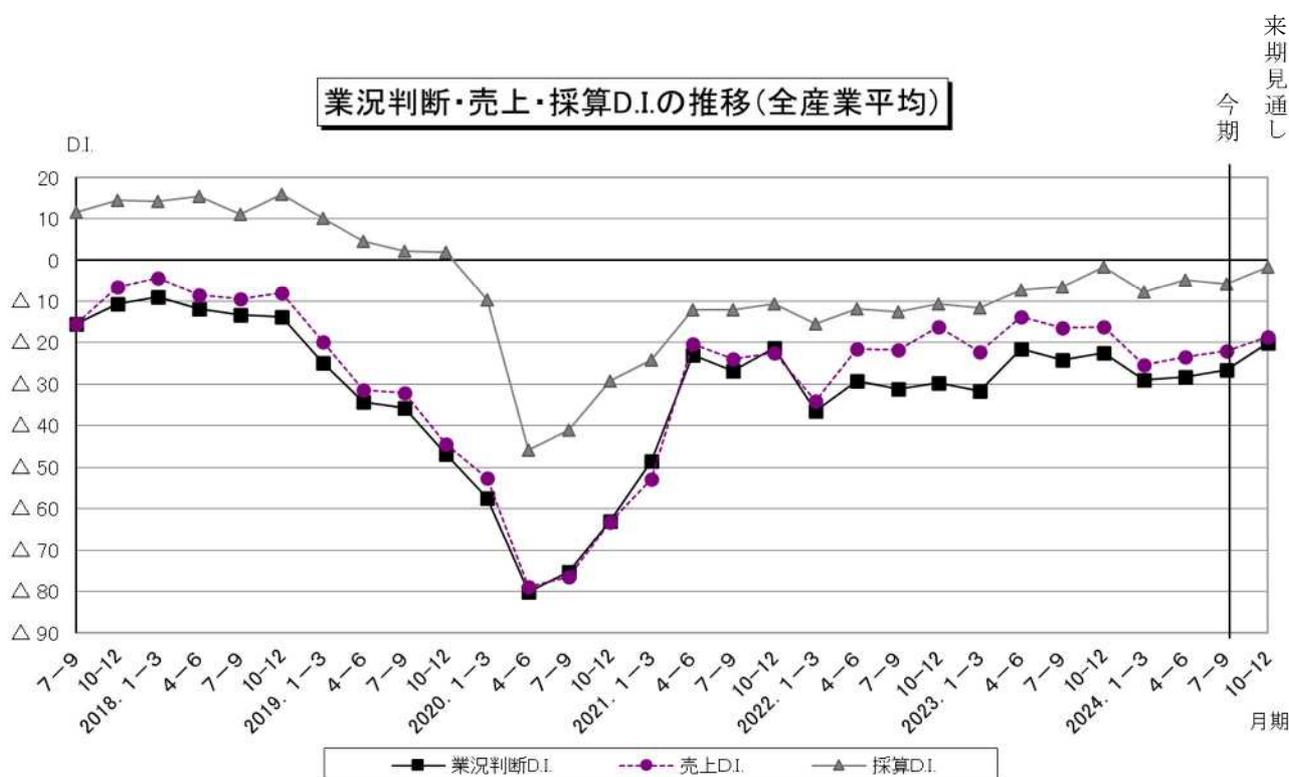
#### 産業別の状況

○製造業では、業況判断及び売上D.I.で前期実績を上回り、採算D.I.で前期実績を下回った。

○卸・小売業では、業況判断及び売上D.I.で前期実績を上回り、採算D.I.で前期実績を下回った。

○建設業では、業況判断D.I.で前期実績を上回り、売上及び採算D.I.で前期実績を下回った。

○サービス業では、業況判断、売上及び採算の各D.I.で前期実績を上回った。



調査時期:2024年9月1日から9月10日まで  
調査対象:中小企業 2,000社 (回答社数 1,134社 回答率 56.7%)

業況判断D. I. の推移

業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)	2024年10-12月期 (来期)
全産業	△ 24.2 (△ 18.0)	△ 22.4 (△ 16.4)	△ 28.9 (△ 19.4)	△ 28.3 (△ 17.2)	↗ △ 26.5 (△ 20.8)	↗ △ 19.9
製造業	△ 21.6 (△ 15.0)	△ 20.5 (△ 13.2)	△ 33.7 (△ 13.6)	△ 29.7 (△ 17.4)	↗ △ 27.5 (△ 19.2)	↗ △ 18.8
卸・小売業	△ 37.5 (△ 25.8)	△ 32.8 (△ 30.0)	△ 26.0 (△ 32.4)	△ 35.3 (△ 20.7)	↗ △ 35.2 (△ 31.1)	↗ △ 27.7
建設業	△ 18.8 (△ 27.7)	△ 23.9 (△ 12.5)	△ 14.1 (△ 25.4)	△ 13.4 (△ 17.2)	↗ △ 9.5 (△ 19.4)	↘ △ 10.9
サービス業	△ 12.1 (△ 15.0)	△ 9.6 (△ 7.5)	△ 15.2 (△ 21.1)	△ 11.9 (△ 8.1)	↗ △ 8.8 (△ 7.1)	↘ △ 12.9

( ) 内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)	2024年10-12月期 (来期)
全産業	△ 16.5 (△ 13.5)	△ 16.1 (△ 11.6)	△ 25.4 (△ 16.7)	△ 23.3 (△ 16.4)	↗ △ 22.0 (△ 20.1)	↗ △ 18.5
製造業	△ 13.3 (△ 10.5)	△ 12.8 (△ 9.2)	△ 30.8 (△ 11.3)	△ 24.7 (△ 16.4)	↗ △ 23.3 (△ 18.7)	↗ △ 18.0
卸・小売業	△ 28.9 (△ 21.5)	△ 25.9 (△ 21.0)	△ 22.3 (△ 25.9)	△ 29.5 (△ 20.3)	↗ △ 26.2 (△ 28.6)	↘ △ 26.6
建設業	△ 14.1 (△ 10.8)	△ 15.5 (△ 6.3)	△ 1.6 (△ 21.1)	1.5 (△ 10.9)	↘ △ 14.1 (△ 19.4)	↗ △ 10.9
サービス業	△ 10.2 (△ 15.8)	△ 14.8 (△ 8.4)	△ 13.4 (△ 26.3)	△ 14.9 (△ 10.8)	↗ △ 7.8 (△ 10.1)	↗ △ 5.9

( ) 内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)	2024年10-12月期 (来期)
全産業	△ 6.5 (△ 3.7)	△ 1.7 (△ 0.5)	△ 7.6 (△ 1.1)	△ 4.8 (0.0)	↘ △ 5.8 (△ 2.2)	↗ △ 1.7
製造業	△ 6.7 (△ 5.0)	△ 0.7 (0.3)	△ 11.5 (0.6)	△ 6.2 (△ 0.9)	↘ △ 8.2 (△ 2.3)	↗ △ 3.7
卸・小売業	△ 17.4 (△ 10.4)	△ 12.7 (△ 12.6)	△ 10.4 (△ 10.9)	△ 12.0 (△ 6.3)	↘ △ 12.1 (△ 11.7)	↗ △ 10.9
建設業	12.7 (10.8)	1.4 (19.0)	20.3 (4.2)	24.2 (9.4)	↘ 22.6 (18.2)	↗ 23.8
サービス業	9.3 (11.7)	15.7 (11.2)	5.4 (7.9)	3.0 (13.5)	↗ 8.8 (8.1)	↗ 18.8

( ) 内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)	2024年10-12月期 (来期)
全産業	29.6% (28.0%)	28.9% (27.4%)	28.5% (29.6%)	27.6% (29.3%)	↗ 27.7% (25.4%)	↘ 25.2%
製造業	34.1% (31.2%)	33.0% (30.9%)	33.1% (35.9%)	30.9% (34.6%)	↗ 31.7% (29.8%)	↘ 29.8%
卸・小売業	19.8% (21.2%)	19.7% (20.2%)	19.0% (18.1%)	19.5% (19.5%)	↗ 21.1% (15.5%)	↘ 15.7%
建設業	29.7% (26.2%)	29.6% (25.0%)	26.6% (18.3%)	26.9% (20.3%)	↘ 23.4% (21.2%)	↗ 25.0%
サービス業	23.4% (24.0%)	24.1% (23.4%)	22.3% (24.1%)	24.8% (23.4%)	↘ 20.8% (21.2%)	↘ 18.6%

( ) 内は1期前における当期見通し

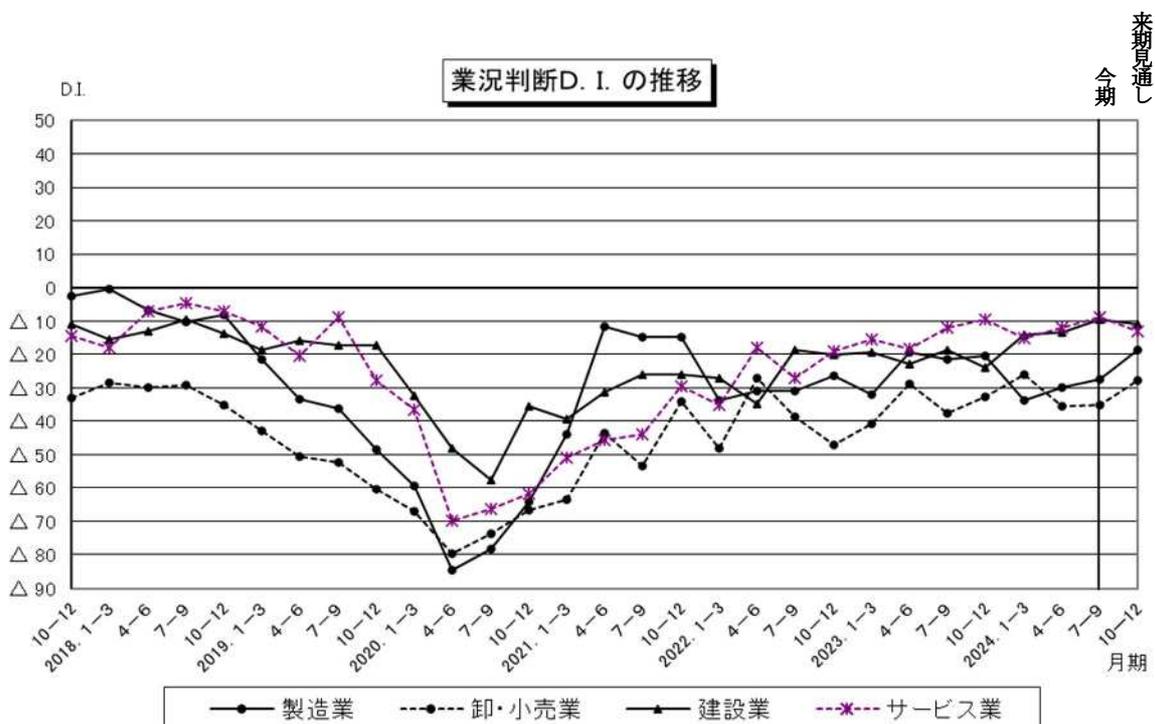
# 今期（2024年7月～9月期）の実績

## 1 業況判断D. I.

業種	2023. 7-9	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9(今期)	2024. 10-12(来期)
全産業	△ 24.2	△ 22.4	△ 28.9	△ 28.3	↗ △ 26.5	↗ △ 19.9
製造業	△ 21.6	△ 20.5	△ 33.7	△ 29.7	↗ △ 27.5	↗ △ 18.8
食料品	8.6	12.7	6.3	6.6	↘ 0.0	↗ 10.8
繊維工業	△ 19.4	△ 32.0	△ 39.7	△ 44.1	↘ △ 44.9	↗ △ 39.1
木材・木製品	△ 47.8	△ 28.9	△ 28.9	△ 50.0	→ △ 50.0	↗ △ 45.0
家具・装備品	△ 37.5	△ 35.7	△ 50.0	△ 36.4	↘ △ 69.2	↗ △ 61.5
紙・加工品	△ 50.0	△ 14.3	△ 40.6	△ 31.3	↗ △ 23.3	→ △ 23.3
印刷	△ 12.0	△ 60.0	△ 45.8	△ 42.9	↘ △ 46.2	→ △ 46.2
化学・ゴム	△ 10.7	△ 10.2	△ 45.5	△ 10.3	↘ △ 11.1	↗ 1.9
窯業・土石	△ 54.7	△ 44.2	△ 33.3	△ 38.3	↘ △ 48.0	↗ △ 34.0
鉄鋼・非鉄	△ 32.3	△ 31.6	△ 50.0	△ 54.3	↗ △ 52.4	→ △ 52.4
金属製品	△ 36.9	△ 27.2	△ 45.9	△ 44.7	↗ △ 35.9	↗ △ 12.9
一般・精密機器	△ 5.7	△ 33.3	△ 23.6	△ 9.4	↗ 1.9	↘ 0.0
電気機器	△ 30.0	△ 31.4	△ 43.3	△ 48.5	↗ △ 20.7	↗ △ 10.3
輸送機器	16.7	17.1	△ 22.0	△ 8.0	↗ △ 5.0	↘ △ 6.3
卸・小売業	△ 37.5	△ 32.8	△ 26.0	△ 35.3	↗ △ 35.2	↗ △ 27.7
卸売業	△ 37.5	△ 30.3	△ 22.4	△ 32.5	↗ △ 32.0	↗ △ 20.9
小売業	△ 37.6	△ 36.5	△ 31.6	△ 40.0	↗ △ 39.8	↗ △ 37.9
建設業	△ 18.8	△ 23.9	△ 14.1	△ 13.4	↗ △ 9.5	↘ △ 10.9
建築業	△ 20.0	△ 20.8	△ 10.0	△ 7.9	↗ △ 5.1	↘ △ 15.0
土木業	△ 16.7	△ 30.4	△ 20.8	△ 20.7	↗ △ 16.7	↗ △ 4.2
サービス業	△ 12.1	△ 9.6	△ 15.2	△ 11.9	↗ △ 8.8	↘ △ 12.9
物品賃貸業	△ 11.4	△ 2.3	△ 17.4	△ 5.1	↗ △ 2.8	↘ △ 16.7
情報サービス業	△ 19.1	△ 16.7	△ 8.2	△ 19.1	↗ △ 14.6	↗ △ 10.4
広告業	6.3	△ 5.6	△ 29.4	△ 6.7	↗ △ 5.6	↘ △ 11.8

※ 業況判断D.I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

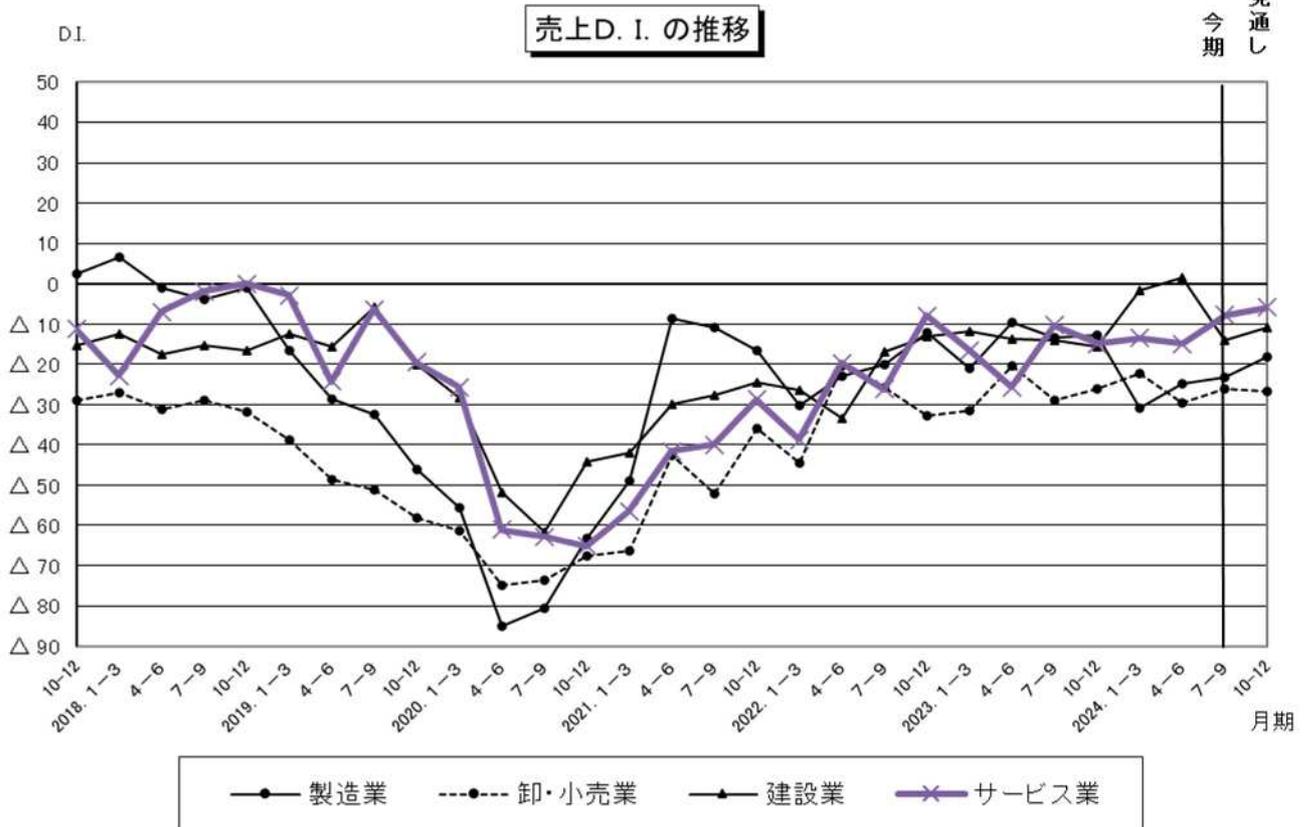


## 2 売上D. I.

業種	2023. 7-9	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9(今期)	2024. 10-12(来期)
全産業	△ 16.5	△ 16.1	△ 25.4	△ 23.3	↗ △ 22.0	↗ △ 18.5
製造業	△ 13.3	△ 12.8	△ 30.8	△ 24.7	↗ △ 23.3	↗ △ 18.0
食料品	39.7	27.0	11.1	21.3	↘ 10.8	↗ 13.8
繊維工業	△ 22.6	△ 24.0	△ 36.5	△ 39.7	↘ △ 40.6	↘ △ 44.9
木材・木製品	△ 50.0	△ 44.4	△ 36.8	△ 50.0	↗ △ 45.0	↘ △ 50.0
家具・装備品	△ 31.3	△ 28.6	△ 28.6	△ 27.3	↘ △ 61.5	↗ △ 53.8
紙・加工品	△ 28.1	17.1	△ 15.6	△ 12.5	↘ △ 26.7	↗ △ 23.3
印刷	△ 8.0	△ 60.0	△ 54.2	△ 50.0	↘ △ 57.7	↗ △ 42.3
化学・ゴム	0.0	△ 1.7	△ 40.0	△ 13.8	↗ 5.6	↗ 14.8
窯業・土石	△ 43.4	△ 27.5	△ 35.4	△ 38.3	↘ △ 50.0	↗ △ 30.0
鉄鋼・非鉄	△ 16.1	△ 23.7	△ 52.9	△ 42.9	↘ △ 50.0	→ △ 50.0
金属製品	△ 25.5	△ 22.4	△ 43.6	△ 29.3	↘ △ 29.5	↗ △ 16.7
一般・精密機器	△ 21.1	△ 29.4	△ 16.1	△ 17.0	↗ 1.9	↘ △ 5.8
電気機器	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 48.5	↗ △ 27.6	↗ △ 6.9
輸送機器	28.2	23.2	△ 22.9	△ 9.2	↗ 0.0	↘ △ 1.3
卸・小売業	△ 28.9	△ 25.9	△ 22.3	△ 29.5	↗ △ 26.2	↘ △ 26.6
卸売業	△ 27.1	△ 22.6	△ 15.6	△ 24.5	↗ △ 17.6	↘ △ 22.2
小売業	△ 31.2	△ 30.8	△ 32.6	△ 37.8	↘ △ 38.8	↗ △ 33.0
建設業	△ 14.1	△ 15.5	△ 1.6	1.5	↘ △ 14.1	↗ △ 10.9
建築業	△ 7.5	△ 8.3	5.0	10.5	↘ △ 15.0	↗ △ 12.5
土木業	△ 25.0	△ 30.4	△ 12.5	△ 10.3	↘ △ 12.5	↗ △ 8.3
サービス業	△ 10.2	△ 14.8	△ 13.4	△ 14.9	↗ △ 7.8	↗ △ 5.9
物品賃貸業	△ 13.6	△ 11.6	△ 13.0	△ 5.1	↗ 8.3	↘ △ 2.8
情報サービス業	△ 12.8	△ 20.4	△ 4.1	△ 19.1	↘ △ 22.9	↗ △ 8.3
広告業	5.9	△ 5.6	△ 41.2	△ 26.7	↗ 0.0	↘ △ 5.6

※ 売上 D.I.は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

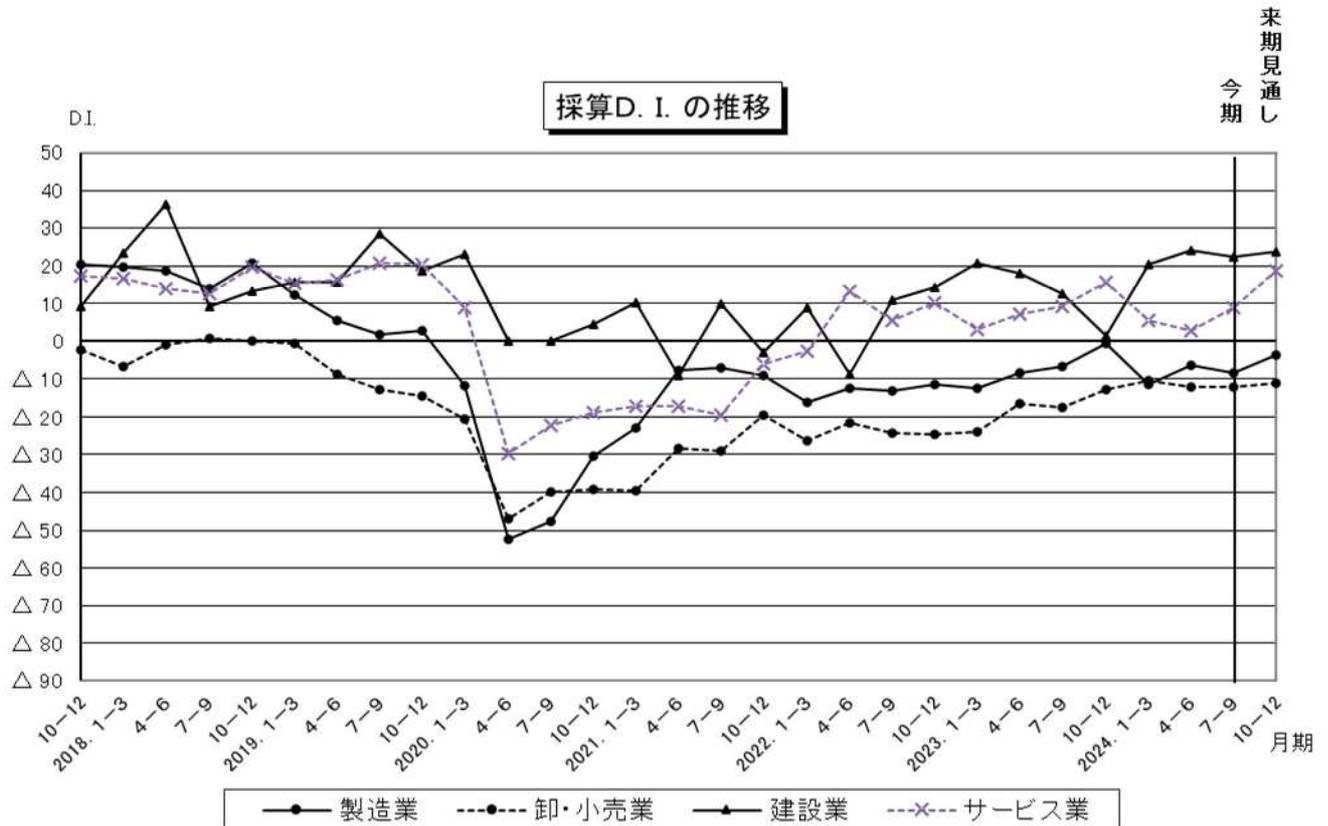


### 3 採算D. I.

業種	2023. 7-9	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9(今期)	2024. 10-12(来期)
全産業	△ 6.5	△ 1.7	△ 7.6	△ 4.8	↘ △ 5.8	↗ △ 1.7
製造業	△ 6.7	△ 0.7	△ 11.5	△ 6.2	↘ △ 8.2	↗ △ 3.7
食料品	5.2	19.0	9.7	18.0	↘ 15.4	↗ 27.7
繊維工業	△ 14.5	△ 28.0	△ 19.0	△ 16.2	↘ △ 18.8	↘ △ 30.9
木材・木製品	△ 24.4	△ 20.5	△ 15.8	△ 17.4	↘ △ 35.0	↗ △ 22.5
家具・装備品	△ 25.0	△ 21.4	△ 7.1	△ 36.4	↘ △ 76.9	↗ △ 30.8
紙・加工品	△ 9.1	11.4	0.0	△ 6.3	↗ △ 3.3	↗ 3.3
印刷	△ 28.0	△ 24.0	△ 45.8	△ 39.3	↗ △ 38.5	↘ △ 48.0
化学・ゴム	21.4	22.0	3.6	13.8	↗ 18.5	↗ 20.4
窯業・土石	△ 20.8	△ 11.5	△ 14.6	△ 10.6	↘ △ 32.0	↗ △ 26.0
鉄鋼・非鉄	△ 3.2	△ 7.9	△ 23.5	△ 2.9	↘ △ 4.8	↘ △ 11.9
金属製品	△ 17.0	△ 7.3	△ 28.8	△ 18.8	↗ △ 15.9	↗ △ 6.1
一般・精密機器	0.0	9.8	8.9	△ 7.5	↗ 5.8	↗ 19.2
電気機器	△ 16.7	△ 8.6	△ 13.3	△ 15.2	↘ △ 17.2	↗ △ 6.9
輸送機器	16.7	25.6	△ 3.6	16.1	↗ 16.3	↘ 11.3
卸・小売業	△ 17.4	△ 12.7	△ 10.4	△ 12.0	↘ △ 12.1	↗ △ 10.9
卸売業	△ 4.9	6.5	0.0	1.3	↗ 2.0	↗ 5.2
小売業	△ 33.9	△ 41.3	△ 26.6	△ 34.4	↗ △ 33.0	↘ △ 35.0
建設業	12.7	1.4	20.3	24.2	↘ 22.6	↗ 23.8
建築業	7.7	10.4	17.5	32.4	↘ 18.4	↘ 17.9
土木業	20.8	△ 17.4	25.0	13.8	↗ 29.2	↗ 33.3
サービス業	9.3	15.7	5.4	3.0	↗ 8.8	↗ 18.8
物品賃貸業	25.0	34.9	19.6	20.5	↗ 27.8	↗ 36.1
情報サービス業	△ 4.3	1.9	0.0	△ 12.8	↗ △ 2.1	↗ 4.2
広告業	5.9	11.1	△ 18.8	6.7	↘ 0.0	↗ 23.5

※ 採算D.I.は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

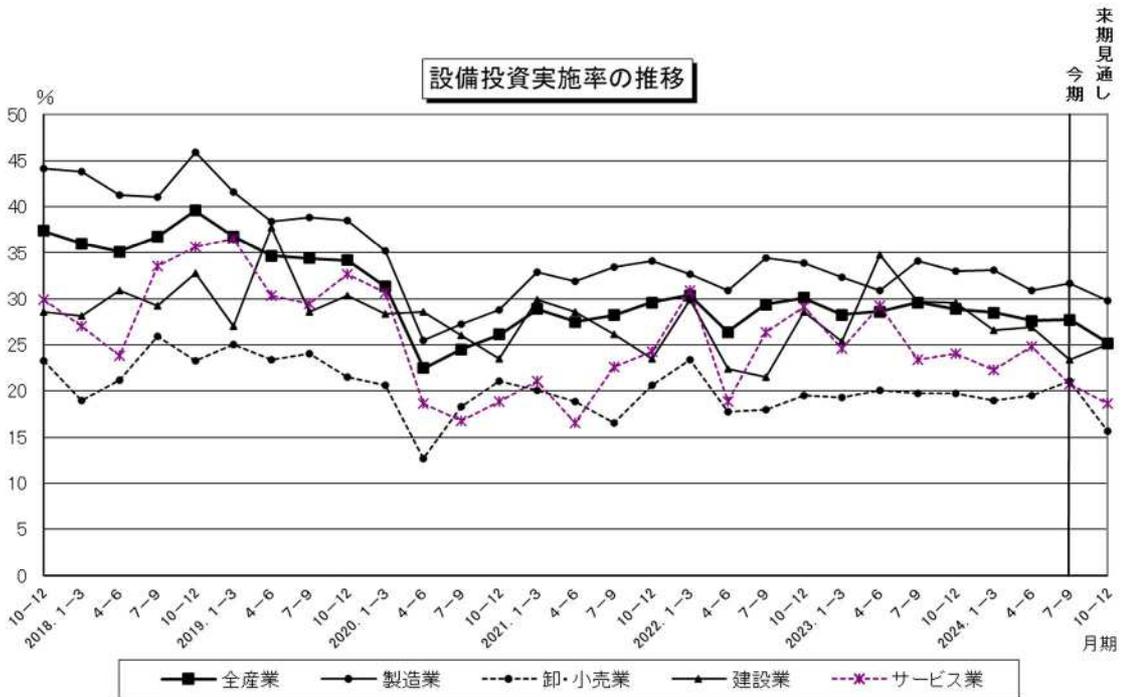


#### 4 設備投資実施率

業種	2023. 7-9	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9(今期)	2024. 10-12(来期)
全産業	29.6	28.9	28.5	27.6	↗	27.7 ↘
製造業	34.1	33.0	33.1	30.9	↗	31.7 ↘
食料品	43.9	41.3	40.3	45.9	↗	47.7 ↘
繊維工業	19.4	20.0	22.2	19.1	↗	20.3 ↘
木材・木製品	13.0	18.6	18.4	10.9	↗	15.0 →
家具・装備品	20.0	42.9	28.6	54.5	↘	23.1 →
紙・加工品	45.5	31.4	38.7	31.3	↘	26.7 ↗
印刷	24.0	20.0	20.8	10.7	↗	11.5 ↘
化学・ゴム	41.1	44.1	43.6	34.5	↗	37.0 ↗
窯業・土石	37.7	32.7	35.4	38.3	↘	26.0 ↗
鉄鋼・非鉄	29.0	28.9	26.5	31.4	↘	23.8 ↘
金属製品	31.4	31.5	29.3	26.3	↗	33.3 →
一般・精密機器	38.0	25.5	33.9	30.2	↗	32.7 ↘
電気機器	26.7	28.6	23.3	24.2	↘	20.7 ↘
輸送機器	51.3	52.4	48.2	47.1	↗	51.3 ↘
卸・小売業	19.8	19.7	19.0	19.5	↗	21.1 ↘
卸売業	16.1	19.4	13.6	21.9	↗	22.2 ↘
小売業	24.8	20.2	27.4	15.6	↗	19.4 ↘
建設業	29.7	29.6	26.6	26.9	↘	23.4 ↗
建築業	25.0	22.9	17.5	18.4	↘	17.5 ↗
土木業	37.5	43.5	41.7	37.9	↘	33.3 ↘
サービス業	23.4	24.1	22.3	24.8	↘	20.8 ↘
物品賃貸業	25.6	30.2	19.6	28.2	↘	27.8 ↘
情報サービス業	27.7	23.6	30.6	27.7	↘	18.8 →
広告業	5.9	11.1	5.9	6.7	↗	11.8 ↘

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

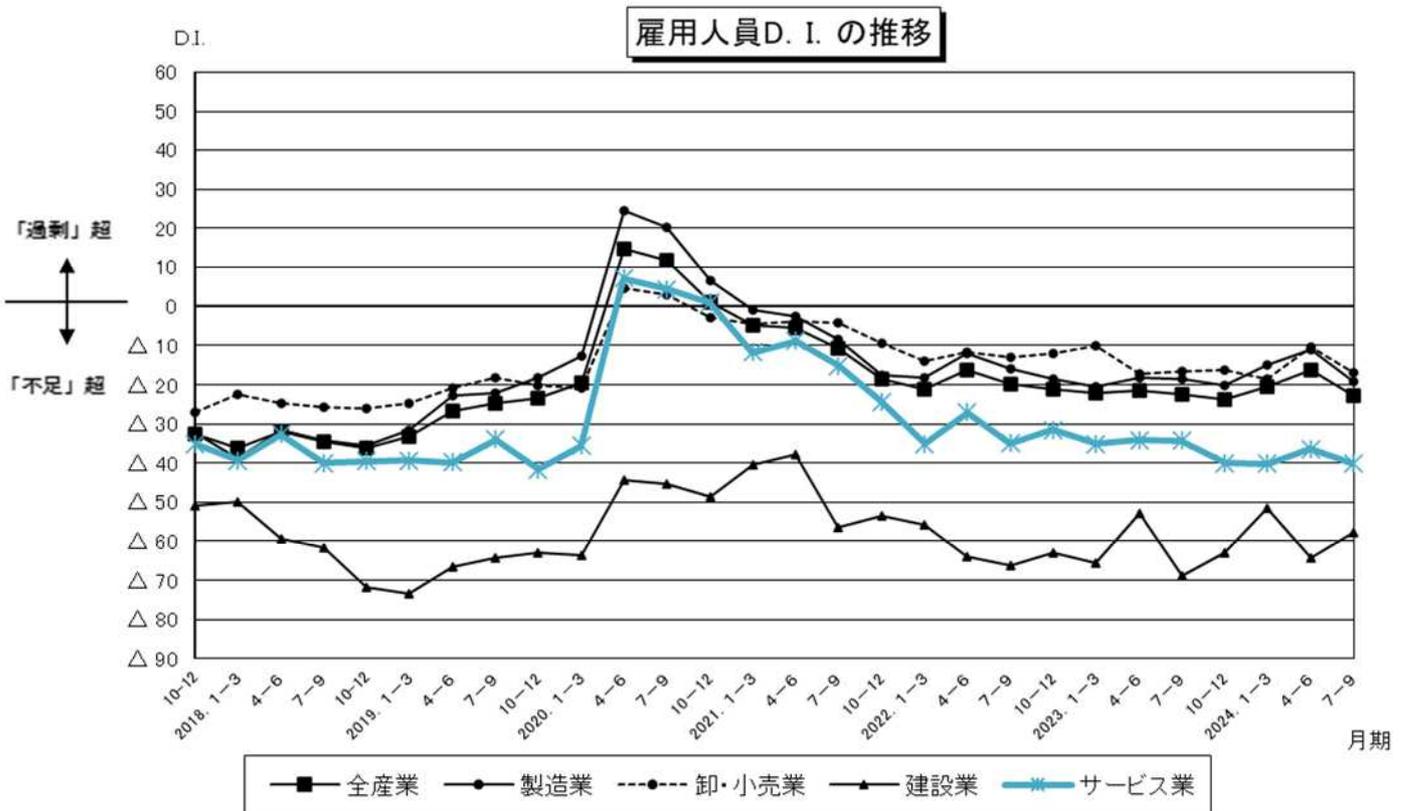


## 5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)	2024年10-12月期 (来期)
	全産業	△ 20.3	△ 17.8	△ 20.7	△ 19.7	△ 19.3	△ 21.4
製造業	△ 17.4	△ 14.9	△ 21.0	△ 19.0	△ 20.4	△ 21.4	
卸・小売業	△ 33.7	△ 30.1	△ 24.4	△ 24.6	△ 21.9	△ 26.6	
建設業	△ 15.6	△ 14.1	△ 15.6	△ 9.0	△ 7.9	△ 9.4	
サービス業	△ 10.2	△ 10.4	△ 14.3	△ 19.8	△ 12.7	△ 15.7	

## 6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	全産業	△ 22.6	△ 23.8	△ 20.5	△ 16.3	△ 22.9
製造業	△ 18.7	△ 20.1	△ 14.9	△ 10.9	△ 19.3	
卸・小売業	△ 16.6	△ 16.2	△ 18.7	△ 10.4	△ 16.9	
建設業	△ 68.8	△ 62.9	△ 51.6	△ 64.2	△ 57.8	
サービス業	△ 34.3	△ 40.0	△ 40.2	△ 36.4	△ 40.2	



## 7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	全産業	3.7	4.5	4.0	3.4	1.4
	製造業	4.1	5.3	5.8	5.7	1.2
	卸・小売業	0.4	△ 0.8	△ 4.3	△ 5.7	△ 4.6
	建設業	11.3	2.8	12.5	13.4	20.3
	サービス業	4.1	12.5	5.8	2.2	5.4

## 8 価格の動向

### (1) 販売価格D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	製造業	30.2	29.4	22.5	30.3	24.7
	卸・小売業	40.7	46.1	39.7	41.1	42.4
	サービス業	6.5	△ 6.2	1.8	8.2	5.0

### (2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	79.0	78.9	70.1	78.7	73.0
仕入価格 D. I.	卸・小売業	85.0	81.5	85.1	83.8	78.8
主要資材 価格D. I.	建設業	81.3	74.6	82.8	80.6	76.6

## 9 設備稼働状況D. I.

設備稼働 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	製造業	△ 22.0	△ 16.9	△ 29.8	△ 26.4	△ 23.1

## 10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」-「減少」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	サービス業	△ 17.8	△ 11.5	△ 9.9	△ 9.2	△ 7.9

## 11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2023年7-9月期	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期 (今期)
	製造業	9.9	10.2	14.9	11.8	11.1
卸・小売業	11.9	17.1	10.4	14.1	8.6	

## 12 経営上の問題点

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

### 【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

### 【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

### 【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

### 【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	2024年1-3月期(前々期)		2024年4-6月期(前期)		順位	2024年7-9月期(今期)	
製造業	原材料高	49.8%	原材料高	57.1%	1位	原材料高	48.9%
	売上の不振	46.8%	売上の不振	45.6%	2位	売上の不振	45.5%
	人件費の増加	31.2%	人件費の増加	32.6%	3位	人件費の増加	35.2%
卸・小売業	仕入価格の上昇	56.7%	仕入価格の上昇	56.6%	1位	仕入価格の上昇	54.1%
	売上の不振	51.7%	売上の不振	52.8%	2位	売上の不振	52.5%
	人件費の増加	31.3%	人件費の増加	27.2%	3位	人件費の増加	30.2%
建設業	資材高	59.4%	資材高	65.7%	1位	人手不足	53.1%
	人手不足	51.6%	人手不足	61.2%	2位	資材高	51.6%
	受注の不振	32.8%	人件費の増加	31.3%	3位	人件費の増加	32.8%
サービス業	売上の不振	40.2%	売上の不振	42.3%	1位	売上の不振	45.8%
	人件費の増加	34.6%	人出不足	34.0%	2位	人件費の増加	34.4%
	人手不足						
	外注コスト増	32.4%	人件費の増加	33.0%	3位	人手不足	33.3%

※ 本調査は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

### 13 行政が今後強化すべき支援策

<調査方法> 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2024年1-3月期(前々期)		2024年4-6月期(前期)		2024年7-9月期(今期)	
		支援策	割合	支援策	割合	支援策	割合
全産業	1位	人材確保支援	44.2%	金融支援	42.8%	金融支援	42.1%
	2位	雇用維持支援	42.9%	人材確保支援	40.8%	雇用維持支援	41.7%
	3位	金融支援	40.4%	雇用維持支援	39.1%	人材確保支援	32.3%
製造業	1位	人材確保支援	43.8%	人材確保支援	40.7%	雇用維持支援	42.4%
	2位	雇用維持支援	42.9%	金融支援	39.4%	人材確保支援	41.4%
	3位	下請適正取引の推進	37.2%	下請適正取引の推進	38.4%	下請適正取引の推進	40.4%
卸・小売業	1位	金融支援	53.3%	金融支援	56.6%	金融支援	54.2%
	2位	雇用維持支援	38.3%	雇用維持支援	36.1%	雇用維持支援	39.4%
	3位	人材確保支援	35.7%	人材確保支援	30.6%	人材確保支援	35.2%
建設業	1位	人材確保支援	71.4%	人材確保支援	72.7%	人材確保支援	63.5%
	2位	雇用維持支援	54.0%	雇用維持支援	56.1%	雇用維持支援	41.3%
	3位	人材育成支援	38.1%	人材育成支援	42.4%	人材育成支援	34.9%
サービス業	1位	人材確保支援	48.6%	人材確保支援	42.7%	人材確保支援	45.6%
	2位	雇用維持支援	45.7%	雇用維持支援	41.7%	金融支援	44.4%
	3位	人材育成支援	39.0%	金融支援	40.6%	雇用維持支援	43.3%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

## 【トピックス調査】

### <価格転嫁の影響>

#### 1 価格転嫁の状況

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	17.0% (22.4%)	25.0% (25.2%)	24.8% (22.8%)	20.0% (12.9%)	8.3% (12.0%)	4.9% (4.7%)
製造業	16.6% (20.3%)	27.6% (29.3%)	27.6% (24.7%)	18.1% (12.8%)	6.9% (9.8%)	3.2% (3.1%)
卸・小売業	17.3% (21.9%)	21.8% (19.3%)	22.6% (25.0%)	28.0% (17.1%)	6.6% (13.2%)	3.7% (3.5%)
建設業	8.2% (20.0%)	19.7% (16.9%)	23.0% (24.6%)	19.7% (9.2%)	21.3% (26.2%)	8.1% (3.1%)
サービス業	24.5% (39.2%)	18.4% (16.5%)	12.2% (4.1%)	13.3% (6.2%)	14.3% (14.4%)	17.3% (19.6%)

※カッコ内は前回調査（2024年4月～6月期）

#### 2 価格転嫁が「全くできていない（2割未満）」あるいは「2割以上5割未満」の場合、価格転嫁が進まない理由

業種	取引への悪影響を恐 れて価格交渉の申し 出ができなかった	取引先へ価格交渉を 申し出たが、交渉自 体に応じてもらえな かった	取引先と価格交渉を 行ったが、満足のいく 結果にならなかった	取引先との交渉方法 がわからない	消費者から理解が得 られ難い	その他
全産業	28.4%	6.3%	40.6%	3.7%	11.0%	10.0%
製造業	27.4%	8.4%	45.6%	3.2%	5.3%	10.1%
卸・小売業	20.9%	3.5%	32.6%	3.5%	30.2%	9.3%
建設業	31.3%	0.0%	37.5%	6.2%	18.8%	6.2%
サービス業	50.0%	0.0%	23.8%	7.1%	7.1%	12.0%

<障害者の雇用について>

1 障害者の雇用状況について

業種	障害者の雇用状況について		
	現在雇用している	過去に雇用していたが現在は雇用していない	雇用したことがない
全産業	26.4%	16.8%	56.8%
製造業	32.1%	19.6%	48.3%
卸・小売業	11.7%	13.4%	74.9%
建設業	34.4%	16.4%	49.2%
サービス業	19.2%	6.1%	74.7%

2 2024年4月から障害者実雇用率の算定対象となった「週10時間以上20時間未満の重度身体障害者、重度知的障害者、精神障害者」の採用方針について

業種	「週10時間以上20時間未満の重度身体障害者、重度知的障害者、精神障害者」の採用方針		
	積極的に採用していきたい	採用には消極的	未定
全産業	6.8%	34.2%	59.0%
製造業	7.4%	34.0%	58.6%
卸・小売業	3.5%	35.5%	61.0%
建設業	9.8%	32.8%	57.4%
サービス業	8.3%	33.3%	58.4%

3 どのような支援や施策があれば「重度身体障害者、重度知的障害者、精神障害者」の採用を考えるか

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

- ・就職面接会等のマッチングイベント
- ・仕事の切り出し等のコンサルティング
- ・給付金等の財政的支援
- ・障害者就労支援施設等の見学イベント
- ・特になし

		2024年7-9月期(今期)		
全産業	1位	給付金等の財政的支援	36.6%	
	2位	仕事の切り出し等のコンサルティング	12.5%	
	3位	就職面接会等のマッチングイベント	8.3%	
	製造業	1位	給付金等の財政的支援	39.0%
		2位	仕事の切り出し等のコンサルティング	12.6%
		3位	就職面接会等のマッチングイベント	9.1%
	卸・小売業	1位	給付金等の財政的支援	33.0%
		2位	仕事の切り出し等のコンサルティング	12.3%
		3位	就職面接会等のマッチングイベント	5.9%
建設業	1位	給付金等の財政的支援	31.5%	
	2位	仕事の切り出し等のコンサルティング	16.7%	
	3位	就職面接会等のマッチングイベント	13.0%	
サービス業	1位	給付金等の財政的支援	32.6%	
	2位	仕事の切り出し等のコンサルティング	9.3%	
	3位	障害者就労支援施設等の見学イベント	7.0%	

※ 「特になし」の回答を除く順位であるため、回答の合計は100%とはならない

## 【調査の概要】

- 1 調査時期 2024年9月1日から9月10日まで
- 2 調査対象期間 実績 ----- 2024年7～9月期  
見通し ----- 2024年10～12月期
- 3 調査内容
  - 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。
  - 採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

### 4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

- 業況判断D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 売上D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 採算D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。
- 設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。
- 資金繰りD. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 雇用人員D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。
- 金融機関の貸出態度D. I. -- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。
- 販売価格D. I. -----
- 主要原材料価格D. I. -----
- 仕入価格D. I. -----
- 主要資材価格D. I. -----
- 設備の稼動状況D. I. -----
- 顧客数D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 在庫水準D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により 100%とまらない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

### 5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

- 製造業・建設業 -- 資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下
- 卸売業 ----- 資本金 1 億円以下又は従業員 100 人以下
- 小売業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 50 人以下
- サービス業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 100 人以下

### 6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,134社	691社	275社	65社	103社
回答率	56.7%	56.2%	58.5%	65.0%	51.5%
(前回)	56.4%	57.2%	54.0%	67.0%	51.0%

本資料は、産業政策課の Web ページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。